

セネガル国 非感染性疾患対策強化プロジェクト ニュースレター第2号

通称：AARU-CI MNT（アーロウチ・エム・エヌ・ティ） 2024年10月発行

高血圧症と糖尿病予防のためのコミュニケーションと啓発活動 セネガル最大のイスラム教行事のひとつ「グラン・マガル（Grand Magal）」に向けて



コミュニティ・ダイアログ（2024年8月6日～9日）

非感染性疾患（NCDs）対策において、予防は重要な要素です。アーロウチMNTプロジェクトは特に高血圧症と糖尿病の予防や早期発見、早期治療が可能な医療サービス体制の整備に注力しており、プロジェクトの対象保健区で地域住民向けに啓発活動を行っています。トゥーバ保健区ではパイロット活動として、地域住民と医療従事者が健康に関する課題解決を共に模索する「コミュニティ・ダイアログ」を開催しました。

グラン・マガルの時期は、多くの人々が集まり食量が増える傾向があるため、地域住民の健康リスクについて意識を高める目的で、ジュールバル保健局長の提言を受けて、8月6日～9日に実施しました。

トゥーバ保健区の6保健センター6カ所と保健ポスト6カ所、計12の公的な保健医療施設にて行われたこのコミュニティ・ダイアログには、「バジェヌ・ゴ」、「ルレ」と呼ばれるコミュニティ・ヘルス・ワーカーや、コミュニティ組織のリーダー、宗教リーダーなど400人以上が参加し、重要な活動としての関心を集めました。



ソーシャル・モビリゼーション（2024年8月15日）



コミュニティ・ダイアログに続き、トゥーバ保健区やカイラ保健区と協力して「ソーシャル・モビリゼーション」という啓発活動も支援しました。この活動では、公共の広場で、医療従事者やコミュニティ・ヘルス・ワーカーが高血圧症や糖尿病の予防管理について地域住民と交流しました。

トゥーバ保健センター副施設長による講和や質疑応答をとおして、リスクファクターや予防方法への理解が深まりました。

カディム・ニャン教授を偲んで

この度、セネガルにおける公衆衛生研究に偉大な貢献をされたカディム・ニャン教授のご逝去に深い追悼の意を表明します。教授は、アーロウチMNTプロジェクトのベースライン調査のリーダーとして尽力されました。JICA、プロジェクトメンバー一同、ご冥福をお祈りします。



赤十字保健ポスト



トックイ保健ポスト



シェイク・アンタ保健ポスト

2024年8月26日～30日に、ジュルベル保健区で「糖尿病と高血圧の予防と管理及びNCDsに関するデータ管理研修」の実施後のフォローアップ活動として、スーパービジョンを行いました。スーパービジョンは研修での学びの実践状況の確認と必要な支援・指導を行う活動です。スーパーバイザーたち計27の公的保健施設で、医療機材の整備の状況と、診療やデータ管理の状況を確認し、不足力所の指導を丁寧に行いました。

9月のジュルベル保健区調整会議では、保健ポストから参加する看護師長や助産師とともに、8月に実施したスーパービジョンの結果や改善提案を共有しました。看護師長・助産師からは、機材やコミュニケーション・ツールについて今後の支援要請も寄せられ、保健区長も、プロジェクトの月例調整会議の場を活用したスーパービジョン結果の共有方法を高く評価しました。

ジュルベル保健区調整会議終了時のインタビュー

プロジェクトで実施した「糖尿病と高血圧の予防と管理及びNCDsに関するデータ管理研修」やスーパービジョンについてどのような印象をお持ちですか？

研修やスーパービジョンは保健医療サービスの質向上に大いに役立っています。特にスーパービジョンは、知識の定着のためにも定期的に実施されるべきだと感じます。研修後には学んだ新しい知識や技術を、それぞれの職場で実践しましたが、スーパービジョンではスーパーバイザーがその実践を評価し、足りない部分があれば、それを修正したり指導したりしてくれるので、学びがさらに深まります。

また、スーパービジョンは私たちのモチベーションの向上にもつながり、医療サービスの質を高める原動力にもなっています。私自身、家族に高血圧患者がいるため、診療の際には家族にも同じレベルのサービスを届けたいと考え、しっかりと基準に基づいた高血圧症や糖尿病の管理をするように心がけています。このような定期的なスーパービジョンがあれば、高血圧症や糖尿病の管理が長期的に向上していくと考えています。



カウスー・ディアッタ
グラン・ジュルベル保健
ポスト・看護師長

研修後、どのようなスキルが身につきましたか？

今回の研修で、患者の管理、特にNCDsに関するデータ管理が大きく改善されました。研修前は、糖尿病患者や高血圧症患者の多くが診察台帳に記載されていないこともありましたが、症例の分類方法を学んだことで、この点が大きく改善されました。

スーパービジョンによっても理解が曖昧だった部分のコーチングを受け、学びが一層深まりました。



ンドイエ・マグアス・チオイェ
ンディンディ保健センター
助産師

また、適切な医療サービスを提供するためには、機材の整備も重要です。最低限必要な機材を備え、診断に必要なすべての検査を保健センターで実施できるようにする支援が求められます。診察時に見やすく、使いやすいアルゴリズム（フローチャート）ポスターの支援も必要です。

今後の活動予定

10月

- District chez vous
(スクリーニングイベント・バンベイ保健区)

11月

- 医師対象高血圧及び糖尿病の予防と治療のための研修プログラム
- 糖尿病と高血圧の予防と管理及びNCDsに関するデータ管理研修の実施後のスーパービジョン
(トゥーバ保健区)

12月

- 患者教育と高血圧・糖尿病などの患者の心理社会的支援に関する文書作成ワークショップ
- 糖尿病と高血圧の予防と管理及びNCDsに関するデータ管理研修の実施後のスーパービジョン
(バンベイ保健区、ティエス保健区、ンバケ保健区)